

## 北九州市こどもまんなか教育プランについて

### 1 位置付け

#### (1) 法的な位置付け

北九州市こどもまんなか教育プラン（以下、「本プラン」という。）は、教育基本法第17条第2項に基づく「地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画」（教育振興基本計画）として位置付けます。

#### (2) 北九州市基本構想・基本計画及び北九州市教育大綱との関係

令和6年3月に策定された、北九州市基本構想・基本計画（以下、「新ビジョン」という。）では、目指す都市像を「つながりと情熱と技術で、『一步先の価値観』を体現するグローバル挑戦都市・北九州市」として、その実現に向けて、3つの重点戦略（「稼げるまち」の実現、「彩りあるまち」の実現、「安らぐまち」の実現）を掲げています。

この新ビジョンとの整合を図りながら、北九州市総合教育会議を経て、市の教育行政に関する目標や基本方針を定める北九州市教育大綱（以下、「教育大綱」という。）が令和6年4月に策定されました。

本プランは、新ビジョンの分野別計画及び教育大綱の実行計画に位置付け、これらの具体的な実現を図ります。

### 2 計画期間

教育大綱や国の教育振興基本計画の計画期間を踏まえ、本プランの期間は、令和6年度（2024年度）から令和10年度（2028年度）までの5年間とします。

なお、社会情勢の変化等に対応するため、必要に応じて適宜、本プランを見直すこととします。

### 3 進捗管理

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づき、毎年度、本プランに設定している KPI や施策の取組状況について点検・評価を行い、プランの進捗管理を測るとともに、点検・評価の結果を踏まえて施策や事業の見直しを図りながら、効率的、効果的に取組を進めます。

(参考)

【教育基本法】

第17条

2 地方公共団体は、前項の計画を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない。

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律】

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。



## < 参考資料 >

# 「北九州市こどもまんなか」

## 社会の課題

- ✓ 少子高齢化・人口減少
- ✓ 将来の予測が困難
- ✓ グローバル化
- ✓ Society5.0社会の到来
- ✓ 価値観の多様化

## 「こどもまんなか」で質の高

### ミッション1

全てのこどもにとって「居心

### ミッション3

誰一人取り残さない学びと、  
先端的な学びを進める

こどもの可能性を引き出す



### ミッション2

失敗を恐れず  
挑戦し、  
志と人間力を  
高められる  
環境をつくる

### ミッション4

学校の自律性と  
教職員の  
ウェルビーイング  
を高める

### (1)確かな学力と健やかな体の育成

- ✓学力・体力の向上、健康、給食の質
- ✓小中一貫教育

### (2)不登校支援、インクルーシブ教育システム

- ✓不登校・いじめ対策、特別支援教育
- ✓学びの機会確保（学びの多様化）

### (3)人権、ジェンダー、多様性への理解

### (4)グローバルな資質・能力の育成

- ✓外国語教育、デジタル・グリーン人材の育成
- ✓文理融合、探究学習、STEAM教育

### (5)ICT活用、リアルとデジタルの融合

- ✓問題解決・価値創造できる人材の育成
- ✓ICT活用に向けた「授業観の転換」

### (1)こどもの意見を学校運営に活かす

- (2)挑戦と失敗を成長の糧とできる環境
- (3)知的好奇心を高め、思考力を育てる
- (4)社会に開かれた教育、放課後の充実

- ✓コミュニケーション力、生きる力の育成
- ✓アントレプレナーシップ教育による人材育成
- ✓特色ある教育環境（市立高校）
- ✓図書館の機能強化

- (1)時代の変化に対応した資質・能力
- (2)働きやすく、教職員同士がつながり、力を発揮できる職場づくり
- (3)自律的で特色ある学校づくり

- ✓教職員の育成、組織風土の醸成
- ✓教職員の負担軽減（チーム学校の推進）
- ✓学校マネジメント能力の向上（危機管理）
- ✓学校ビジョンに基づく学校運営
- ✓校務DXの推進、ICTによる授業支援

正解のない時代に生きる力  
(未来を創る能力・レジリエンス)

- 自分なりの価値観・哲学
- 他者への思いやりや多様性の理解
- 自分で問いを見つけ、解決する力
- 本来持っている可能性の発揮

個々のウェルビーイング

# 「か教育プラン」の全体像

## 各主体の課題

- ✓ 子どもの抱える問題の多様化・複雑化 (不登校、特別支援、ギフテド、外国人)
- ✓ 教職員のなり手不足
- ✓ 施設の老朽化や、災害への対応 (レジリエンス)
- ✓ 家庭を取り巻く環境の変化や少子化

## 時代の要請

- ✓ 社会の変化に対応できる人材の育成
- ✓ 誰一人取り残されない共生社会
- ✓ こども基本法の理念「こどもまんなか」の実現



## い教育環境の充実を

### 「地域の良い学校」をつくる



#### (1) こどもを枠にはめず、違いを尊重

- ✓ 「こどもまんなか」の教育施策

#### (2) こどもが人を支え、人から支えられ、自分の身を守れるように育てる。

- ✓ 生命の安全教育
- ✓ 人権・道徳教育

#### (3) 安全・安心に過ごせる居場所づくり

- ✓ 学校施設の維持管理・教育環境の整備
- ✓ 学びの機会の確保・地域との連携

#### (1) 地域・企業、NPO等と連携した教育

- ✓ コミュニケーション力、生きる力の育成
- ✓ STEAM教育、SDGs・環境教育
- ✓ 不登校・いじめ対策、学びの機会確保
- ✓ 部活動地域移行の推進

#### (2) 学校と地域の連携による学校運営

- ✓ 地域との連携 (市民ボランティア、コミュニティ・スクール)
- ✓ 家庭との連携

#### (3) 教育の情報を社会全体で共有

- ✓ 広報広聴活動

今の子どもたちが  
大人になったときに…

- 社会に新たな価値を創造し、「新たな解」を生み出す
- 様々な社会課題を解決し、地域・国際社会に貢献する

### 社会のウェルビーイング



ミッション	主な施策	
① 全ての子どもにとって「居心地のよい学校」をつくる	1	子どもを枠にはめず、一人ひとりの子どもの違いを尊重する
	2	子どもが人を支え、人から支えられ、自分の身を守れるよう育てる
	3	学校の中でも外でも、安全で安心して過ごせる居場所をつくる
② 子どもが失敗を恐れず挑戦し、志と人間力を高められる環境をつくる	1	子どもを「社会の構成員」として尊重し、子どもの意見を聴いて学校の運営に活かす
	2	子どもも教職員も安心して挑戦し、失敗を楽しみ、成長の糧とできる環境を整える
	3	子どもが好きなことに夢中になれる環境をつくることで、知的好奇心を高め、思考力を育てる
	4	社会に開かれた教育、学校外の学びや放課後活動の充実を進める
③ 誰一人取り残さない学びと、未来を見据えた先端的な学びを進める	1	確かな学力と健やかな体を育成する
	2	不登校児童生徒の支援やインクルーシブ教育システムの実現、夜間中学の設置運営などを進める
	3	人権、ジェンダー平等、多様性の理解を深め、他者を尊重する態度を養う
	4	グローバルな視野で活躍するための資質・能力の育成と国際理解教育の推進を図る
	5	ICTを日常的に活用し、リアルとデジタルの効果的な融合を進める
④ 自律的で特色ある学校づくりを進め、教職員のウェルビーイングを高める	1	教職員が、時代の変化に対応して求められる資質・能力を身につける
	2	働きやすく、教職員同士がつながり、誰もが力を発揮できる職場をつくる
	3	自律的で特色のある学校をつくる
⑤ 地域とのつながりの中で、社会全体で子どもを見守り支え、育てる	1	地域・企業、NPO等と連携した教育を進める
	2	学校と地域の連携による学校運営を進める
	3	教育に関する情報を社会全体で共有できるよう積極的に発信する

## ラン」の全体構成

関連する計画等
○北九州市教育委員会人材育成基本方針及びアクションプラン【H29.4策定、R5.12改訂】
○北九州子どもつながりプログラム追加版【R3.4策定】
○（改訂版）北九州市特別支援教育推進プラン【H29.1策定、R5.2改訂】 ○北九州市立小・中学校の学校規模適正化の進め方【H29.3策定、R6.6改定】 ○学校施設長寿命化計画【H30.3策定】 ○北九州市いじめ防止基本方針【H26.6策定、R5.3改定】 ○北九州市子ども読書プラン（第4次計画）【R3.3策定】
○北九州市教育委員会人材育成基本方針及びアクションプラン【H29.4策定、R5.12改訂】
○北九州市子ども読書プラン（第4次計画）【R3.3策定】】
○（仮称）北九州市立図書館基本計画【策定予定】
○学校における歯と口の健康づくり推進計画【R4.3策定】
○北九州市いじめ防止基本方針【H26.6策定、R5.3改定】 ○（改訂版）北九州市特別支援教育推進プラン【H29.1策定、R5.2改訂】 ○元気発進！子どもプラン（第3次計画）【R2～6年度】
○北九州子どもつながりプログラム追加版【R3.4策定】
○北九州市教育委員会人材育成基本方針及びアクションプラン【H29.4策定、R5.12改訂】 ○学校における業務改善プログラム（第3版）【R5.2策定】
○北九州市部活動地域移行推進計画【策定予定】

## 北九州市子どもまんなか教育プラン KPI

※記載がない場合、最新値は令和5年度、目標値は令和10（2028）年度

ミッション		指標	最新値	目標値	
プランの項目			《出典》		
1 全ての子どもにとって「居心地のよい学校」を創る	KPI	学校に行くのは楽しいと思う こどもの割合	小学生：83.8% 中学生：78.9%	小学生：90% 中学生：85%	
			《全国学力・学習状況調査》		
	(2)	—	困りごとや不安がある時に、 先生や学校にいる大人に いつでも相談できると 回答したこどもの割合	小学生：62.5% 中学生：65.1%	
			《全国学力・学習状況調査》		
	(2) (3)	—	学校生活の中で「こわいな」 「不安だな」と思ったことが あると回答したこどもの割合	小学生：23.1% 中学生：21.8%	
			《次期教育プラン策定のためのアンケート》		
	(3)	—	「勤務する学校が、こどもに とって安全・安心な居場所になっ ている」と回答した 教職員の割合	65.5%	
			《次期教育プラン策定のためのアンケート》		
	①		学校施設老朽化対策事業 (大規模改修及び外壁改修) の工事校数	47校 (R1～5年度)	50校 (R6～10年度)
			《教育委員会調査》		



ミッション		指標	最新値	目標値	
プランの項目			《出典》		
2 こどもが失敗を恐れず挑戦し、志と人間力を高められる環境をつくる	KPI	将来の夢や目標を持っているこどもの割合	小学生：81.1% 中学生：66.8%	小学生：85% 中学生：70% (政令市1位の水準を目指す)	
			《全国学力・学習状況調査》		
	(1)	—	「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答したこどもの割合	小学生：95.7% 中学生：94.4%	小学生：95% 中学生：95%
				《全国学力・学習状況調査》	
	(2)	—	「挑戦したい気持ちはあるが、失敗が怖い(恥ずかしい)ので挑戦したくない」と回答したこどもの割合	小学生：24.1% 中学生：23.1%	小学生：15%以下 中学生：15%以下
				《次期教育プラン策定のためのアンケート》	
				37.0%	20%以下
	(2)	②	「5年前のこどもと比較して、困難にくじけず対応する力が劣っている」と回答した教職員の割合	《次期教育プラン策定のためのアンケート》	
				小学生：84.5% 中学生：98.2% (R4年度)	小学生：90% 中学生：100%
				《全国学力・学習状況調査》	
(3)	—	「学習を通じて、自分がしたいことが増えている」と回答したこどもの割合 【市立高校】	77.8%	80%	
			《高校魅力化評価システム》		
(4)	②	図書館の利用者満足度 (※中学生以下) ①「読みたい本の有無」 ②「調べ物に役立つか」 ③「職員の知識・説明」	①93.2% ②93.4% ③95.7% (R4年度)	各項目で 90%以上	
			《図書館利用者アンケート》		

【参考指標】

ミッション		指標	最新値	目標値	
プランの項目			《出典》		
3 誰一人取り残さない学びと、未来を見据えた先端的な学びを進める	KPI	授業が自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていると思うこどもの割合	小学生：81.7% 中学生：73.6%	小学生：85% 中学生：80%	
			《全国学力・学習状況調査》		
	(1)	①	全国学力・学習状況調査結果の平均正答率	【国語】 小学校：66% 中学校：69% 【算数・数学】 小学校：59% 中学校：49%	全国平均値以上
			《全国学力・学習状況調査》		
		「5年前と比較して、こどもの基礎学力が劣っている」と回答した教職員の割合	39.4%	20%以下	
		《次期教育プラン策定のためのアンケート》			
		「先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて分かるまで教えてくれていると思う」と回答したこどもの割合	小学生：91.8% 中学生：88.7%	小学生：95% 中学生：90%	
		《全国学力・学習状況調査》			
	【参考指標】	②	「5年前と比較して、こどもの体力が劣っている」と回答した教職員の割合	43.3%	20%以下
			《次期教育プラン策定のためのアンケート》		
全国体力・運動能力調査結果の体力合計点		【小学校】 男子：52.55 女子：54.12 【中学校】 男子：42.89 女子：48.27	前年度以上		
《全国体力・運動能力調査》					

ミッション		指標	最新値	目標値	
プランの項目			《出典》		
3 誰一人取り残さない学びと、未来を見据えた先端的な学びを進める	(1)	③	う歯のないこどもの割合 【中学校1年生】	64.38%	67.9% (R8年度)
			《学校保健統計調査》		
			肥満傾向児の割合 【小学校5年生男子】	15.40%	全国平均値以下
			《肥満度調査》		
		肥満傾向児の割合 【小学校5年生女子】	11.92%	全国平均値以下	
		《肥満度調査》			
		痩身傾向児の割合 【中学生女子】	3.28%	全国平均値以下	
		《肥満度調査》			
	④	学校給食をおいしいと感じているこどもの割合	72.6%	80%	
		《教育委員会調査》			
	(2)	①	いじめの解消率	小学校：94.6% 中学校：95.1% (R4年度)	前年度以上
			《児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査》		
		②	スクールソーシャルワーカーによる事例の解決・好転率	54% (R4年度)	前年度以上
			《教育委員会調査》		
		②	居住地の校区外の特別支援学級に通学している対象こどもの割合	小学校：9.2% 中学校：17.9% (R4年度)	小学校：8% 中学校：15%
《特別支援学級実態調査》					
(4)	①	中学校卒業段階で、CEFR A1レベル相当（英検3級など）以上のこどもの割合	48.3% (R5年度)	60%	
		《英語教育実施状況調査》			
(5)	①	教員が授業の中で、週3回以上GIGA端末を活用する割合	小学生：74.8% 中学生：67.2%	全国平均値以上	
		《全国学力・学習状況調査》			

ミッション		指標	最新値	目標値	
プランの項目			《出典》		
4 自律的で特色ある学校づくりを進め、教職員のウェルビーイングを高める	KPI	こどもと向き合う時間（指導準備を含む）を確保できていると感じている教員の割合	65.3%	80%	
			《教育委員会調査》		
	【参考指標】	① (1) (2) (3)	日々の仕事にやりがいを感じている教員の割合	87.7%	95%
			《教育委員会調査》		
			研修振り返りシートの総合評価（4段階評価）	3.8 (R4年度)	3.9
			《研修振り返りシート》		
			「学校で主体的・対話的で深い学びを実践できている」と回答した教職員の割合	6.7%	20%
			《次期教育プラン策定のためのアンケート》		
			「学校で個別最適・協働的な学びを実践できている」と回答した教職員の割合	7.4%	20%
			《次期教育プラン策定のためのアンケート》		
			「こどもまんなか社会を意識した取組を学校でできている」と回答した教職員の割合	6.5%	20%
			《次期教育プラン策定のためのアンケート》		
			②	教職員の仕事をしながら、悩みや苦しさがあると回答した教職員の割合	69.5%
《次期教育プラン策定のためのアンケート》					
③	「勤務する学校は、チーム学校としてのチーム力がある」と回答した教職員の割合	31.4%	60%		
《次期教育プラン策定のためのアンケート》					

ミッション		指標	最新値	目標値
プランの項目			《出典》	
5 地域とのつながりの中で、 社会全体で子どもを見守り支え、 育てる	KPI	地域や社会をよくするために 何かしてみたいと思う こどもの割合	小学生：75.3% 中学生：62.3%	小学生：80% 中学生：70%
			《全国学力・学習状況調査》	
	【参考指標】 (2) ①	「今住んでいる地域の 行事に参加している」と 回答したこどもの割合	小学生：49.8% 中学生：39.0%	小学生：60% 中学生：50%
			《全国学力・学習状況調査》	
	「教育的効果が得られた」と 回答した地域学校協働活動実 施校の割合	77% (R4年度)	前年度以上	
		《地域学校協働活動事業実施校に 対して行ったアンケート》		



## <用語解説>

### ※1 ウェルビーイング

身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むもの。また、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む、包括的な概念。【教育振興基本計画】

### ※2 北九州子どもつながりプログラム

小中9年間で、こどもの実態や発達段階に応じて、人間関係づくりのスキルを獲得するためのプログラム。児童生徒の自尊感情を高める、自分の気持ちをコントロールする、友だちと互いのよさを認め合い、協力できる関係をつくることなどを狙う。

### ※3 ZEB

Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物。【環境省】

### ※4 ICT

情報通信技術（Information and Communication Technology）の略。情報・通信に関連する技術一般の総称。IT（Information Technology：情報技術）とほぼ同義に用いられるが、ネットワーク通信による情報・知識の共有が念頭に置かれた表現。

### ※5 コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組み。学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができる。【文部科学省ホームページ】

### ※6 地域学校協働本部

従来の学校支援地域本部等の地域と学校の連携体制を基盤として、より多くのより幅広い層の地域住民、団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成することにより、地域学校協働活動を推進する体制。【地域学校協働活動の推進に向けたガイドライン 参考の手引（文部科学省）】

### ※7 スクールヘルパー

子どもたちに確かな学力と豊かな心など「生きる力」を育むため、学校だけでなく地域や保護者の方などが、ボランティアとして活動するもの。

※8 北九州ステップアップメソッド（コグトレ）

従来、個人を対象としたコグニティブトレーニング（Cognitive Training：認知トレーニング）を、集団を対象に応用させたもので、対人スキルの向上（社会面）、基礎学力の土台づくり（学習面）、不器用さの改善（身体面）の3方面から、こどもたちへの支援を行うもの。

※9 社会情動的スキル

一貫した思考・感情・行動のパターンに発現し、学校教育またはインフォーマルな学習によって発達させることができ、個人の一生を通じて社会・経済的成果に重要な影響をあたるといった個人の能力。【家庭、学校、地域社会における社会情動的スキルの育成（OECD ワーキングペーパー）】

※10 アントレプレナーシップ教育

起業家精神（チャレンジ精神、創造性、探究心等）と起業家的資質・能力（情報収集・分析力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション力等）を有する人材を育成する教育のこと。【北九州市・新ビジョン 付属資料】

※11 レファレンス

情報を求める利用者に対して、図書館員が図書館の資料と機能を活用して、必要としている資料の検索方法を教えたり、回答を提供したりするサービス。参考業務ともいう。

※12 DX

Digital Transformation（デジタルトランスフォーメーション）の略。最先端のデジタル技術を企業や行政などに広く浸透させることで、人々の暮らしをより便利で豊かなものへと変革すること。

※13 読書バリアフリー

すべての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられるようにするため、さまざまな障害のある方が利用しやすい形式で本の内容にアクセスできるようにすること。

※14 学校給食応援団

市内栄養士養成大学や料理人の方々などで構成。学校給食について、専門的な助言やメニューに関する提案、食育に関する取組みなどを行う。

※15 スクールカウンセラー（SC）

児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有する臨床心理士などの「心の専門家」。

※16 スクールソーシャルワーカー（SSW）

社会福祉士または精神保健福祉士の資格を有し、不登校や暴力行為、児童虐待など、問題を抱える児童生徒が置かれた複雑な家庭環境に働きかけ、関係機関との連携の強化を図る職員。

※17 インクルーシブ教育システム

人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組み。【文部科学省】

※18 サードプレイス

学校でも、家庭でもない、居心地のよい第三の居場所。【厚生労働省】

※19 外国語教育リーディングスクール

本市の外国語教育を牽引するリーダー校として教育委員会が指定する小中学校で、外国語教育における先進的な指導方法の開発・実践を行い、成果を全市に普及する取組みを行っている。（令和6年4月現在、小学校4校、中学校3校を指定。）

※20 STEAM教育

数理教育に創造的教育を加えた教育理念。科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、芸術・リベラルアーツ（Arts）、数学（Mathematics）の頭文字をとったもの。

※21 OJT

職場において、主に仕事の経験を通じて必要な能力を養成する研修。On the Job Trainingの頭文字をとったもの。【北九州市人材育成基本方針】

※22 教育ダッシュボード

教育に関する様々なデータを自動的に収集、分析、加工して簡潔にまとめ、集計値や表、グラフなどで視覚的に分かりやすく一覧化した画面。【GIGAスクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議】

北九州市次期教育プラン検討会議 構成員名簿

	名前	所属等
学識経験者 (4名)	窪田 由紀	九州産業大学 産学共創・研究推進本部 科研費特任研究員
	鶴見 智	北九州工業高等専門学校 校長
	【座長】 眞鍋 和博	北九州市立大学 地域創生学群 教授
	宮口 英樹	高知健康科学大学 学長
地域・企業 (3名)	上田 哲則	北九州商工会議所 環境・SDGs 委員会委員長
	下岡 純一郎	株式会社クアンド 代表取締役
	友納 優子	総合療育センター 副所長
公募	泉 香苗	公募構成員

(区分ごと五十音順、敬称略)

## 北九州市子どもまんなか教育プラン（案）に対する 市民意見の結果について

### 1 意見募集期間

令和6年5月29日（水）から6月26日（水）まで

### 2 意見提出状況

(1) 意見提出者 120名

(2) 提出数 224件

(3) 提出方法

提出方法	メール	持参	オンライン
人数	5	10	105

(4) プランへの意見内訳

内訳	件数
プラン全体にかかること	17件
各ミッションに関すること	182件
1 全ての子どもにとって、「居心地のよい学校」をつくる	38件
2 子どもが失敗を恐れず挑戦し、志と人間力を高められる環境を作る	18件
3 誰一人取り残さない学びと、未来を見据えた先端的な学びを進める	87件
4 自律的で特色ある学校づくりを進め、教職員のウェルビーイングを高める	23件
5 地域とのつながりの中で、社会全体で子どもを見守り支え、育てる	16件
その他	25件

(5) プランへの意見反映結果

内訳	件数
プランに記載済	79件
プランに追加・修正する	10件
プランに追加・修正しない	110件
その他	25件



## 北九州市教育大綱（令和6年4月策定）

北九州市では、「こどもまんなか」で質の高い教育環境の充実を図ってまいります。

「こどもまんなか」とは、「こどもの視点や考え方を大切にすること」と、「こどもたちを、社会を構成する存在として尊重すること」と考えています。

次の5つの柱に基づいて、こども一人ひとりの中にある思いや考えに耳を傾け、それぞれの個性や多様性を尊重し、こどもたちが持っている可能性を發揮していける教育を推進します。

### 1 全てのこどもにとって、「居心地のよい学校」をつくります。

こどもが安全に安心して過ごすことができ、受け入れられていると感じることが出来る居場所を、学校をはじめとする社会全体でつくり、セーフティネットとしての役割を果たせるようにします。

### 2 こどもが失敗を恐れず挑戦し、志と人間力を高められる環境をつくります。

変化が激しく正解がないこれからの時代には、自分で問いを見つけ、解決していく力が求められます。

結果よりプロセスを大事にする「主体的・対話的で深い学び」に取り組み、様々な経験や挑戦をできる場を整えることで、こどもたちがいきいきと育ち、自分なりの価値観・哲学や、周りの他者を思いやりながら協働する力、転んでも立ち上がる力などを身につけて人間力を高め、本来持っている可能性を發揮できるよう、こどもの成長を後押しします。

### 3 誰一人取り残さない学びと、未来を見据えた先端的な学びを進めます。

多様なこどもの状況に応じた学びを進めるとともに、多様な他者と学び合う「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を進めることで、誰一人取り残さず、全てのこどもたちの可能性を引き出し、学齢期を経過した人も含め、学びの機会を保障する環境を整えます。

また、グローバル化やデジタル化が進展する、これからの新しい時代に対応するための学びや、義務教育9年間を見通した取組みを進めます。

### 4 自律的で特色のある学校づくりを進め、教職員のウェルビーイングを高めます。

こどものウェルビーイングを実現するためには、教職員のウェルビーイングを確保することが必要です。

教職員のなり手不足や若年層の急増、こどもが抱える問題の多様化・複雑化、働き方に対する見直しなど、様々な課題に直面する中で、教職員の確保・育成、「先生を一人にしない」取組みと併せて、外部人材や地域と連携しながら学校づくりを進めることで、働き甲斐があり、誇りを持ってこどもに向き合える職場をつくります。

### 5 地域とのつながりの中で、社会全体でこどもを見守り支え、育てます。

学校と家庭や地域、企業、関係機関が連携して、社会全体でこどもを見守り、健やかに育む環境づくりを進めます。地域や社会に学校を開き、学校運営への参画を進め、また、多様な人材の活用によって様々な学びや体験ができる機会の創出を図ります。

さらに、そうした地域とのつながりが、こどもたちのアイデンティティを涵養し、自らを育ててくれた地域や歴史に愛着や誇りを抱くことによって、郷土愛の醸成、さらには地域の課題に主体的に取り組み、貢献する人材の育成につながることを目指します。

## ⑤令和6年度指定管理者の評価結果

### 指定管理者の管理運営に対する評価一覧

評価別	指定管理者	施設概要	指定期間	評価期間	評価ランク (評価点)
多段階評価 (選定前)	株式会社図書館流通センター	八幡図書館 (2分館を含む)	H31.4.1 ～ R7.3.31	H31.4.1 ～ R6.3.31	B (70点)
多段階評価 (中間)	株式会社図書館流通センター	門司図書館 (2分館を含む)	R5.4.1 ～ R9.3.31	R5.4.1 ～ R6.3.31	C (68点)
	株式会社日本施設協会	戸畑図書館	R5.4.1 ～ R10.3.31	R5.4.1 ～ R6.3.31	C (68点)

#### 【総合評価】

- A：総合評価の結果、優れていると認められる  
(合計得点が80点以上)
- B：総合評価の結果、やや優れていると認められる  
(合計得点が70点以上80点未満)
- C：総合評価の結果、適正であると認められる  
(合計得点が60点以上70点未満)
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる  
(合計得点が50点以上60点未満)
- E：総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる  
(合計得点が50点未満)